



今、ここ

めぐす子どもの姿 ~ やさしく かしく たくましく ~
「合言葉」わたしが主人公 一人一人が主人公
—わたしがわたしをつくる。わたしの学校をつくる—

令和5年1月30日 第10号
銭座小学校 校長 丸山朋子

「一月往ぬる二月逃げる三月去る (いちげついぬる にげつにげる さんげつさる)」

行事が多く、あっという間に過ぎていく正月から三月。この様子をリズムよく表したこの言葉が、今の心境にぴったり当てはまります。

先週は強い寒波がやってきて、通学、通勤、物資の輸送等々、さまざまな影響を受けました。皆様のご家庭やご勤務先等々、大丈夫でしたか？

予報を見ると、この後も寒い日が続きそうです。どうかご自愛ください。



○雪の日に、雪の中を

1月25日雪の朝。滑りやすい道路や階段。いつもと違う筋肉と気をつかいながら、学校にやってくる子どもたち。真っ白に雪化粧をしたまちの景色に、ワクワクした気持ちも高まったようで、いつもより興奮気味です。早速、外に出て「雪の朝」を楽しむ姿も見られました。



「ほら見て。つらら、取ってきた」と、雨どいの下にできた透明でキラキラのクリスタルのような氷の芸術を見せてくれました。



運動場では、雪合戦をする子どもたちが。「砂場のシートの上が、たくさん積もってるよ。」
「畑の草の上に積もった雪は、ふかふかしてる。」と、時間限定のお宝の場所を教えてください。

真っ白の運動場。出来たての朝の空気。走っていると、体も内側から温まってきます。



あっという間に時間がすぎ、体についた雪をはらって校舎へ。

かき集めた雪でできた愛らしい雪だるまたちは、玄関前に並べられ、または先生や友達に紹介するために教室に運ばれていったようです。

この日の天気は、人々を翻弄する一方で、人の五感や好奇心を大いに刺激してくれました。

どれもユニーク!雪だるま



雨どいにつらら。

○2年生がお店屋さんを開きました。

1月26日(木)生活科「おもちゃをつくってみよう」の学習で、2年生がお店屋さんを開き、1年生を招待しました。

様々な準備をしてきた2年生。「いらっしやい。楽しいですよ。」と元気に声をかけます。お店にはアイデアいっぱいの手作りおもちゃが並び、やり方がわからないときはお店屋さんが説明してくれました。

明るく親切なお店屋さんのおかげで、お客さんの1年生もとても楽しそうでした。

最後に互いに向き合って並ぶと、1年生が笑顔で「ありがとうございました」と、お礼を言いました。「来年はわたしたちがお店屋さんだ」と、1年生もイメージを持ったことでしょう。

子どもたちは、楽しい遊びを通して、お客さんへのあいさつや言葉遣い、「お尋ね」や「説明」等々、「言葉を使って表現し、伝え合う力」も発揮していました。



○「あいさつする人」に・・・。

朝の玄関前、「セーノーサンハイ、おはようございます。」と、6年生の子どもたち6名があいさつ運動をしています。

「おはようございます」とあいさつを受けた時、「おはようございます」と返ってきた時、何度経験しても「心地よさ・安心」を感じます。互いの存在を許し合えたような、認め合えたような心地がするからでしょうか。「グッド モーニング」「ボンジュール」「アンニョンハセヨ」国によってあいさつは様々ですが、共通しているのは、それぞれの国にあいさつが「ある」ということです。

一方、子どもたちと一緒に、「あいさつ」を学校のもち味にしていくには、わたしたち大人に「示し続け、声をかけ続ける」根気が必要です。

ご家族の皆様、地域の皆様、ご家庭での子どもたちのあいさつの様子、地域での子どもたちのあいさつの様子、いかがでしょうか。

どうかこれからも、ご理解ご協力をお願いいたします。